教 科 用 図 書 調 査 研 究 報 告 書（道徳を除く）

教科・種目名	音楽	種類	2種

採択基準	基本観点	発行者名(番号・略称)17・教出 音楽101 201 301 401 501 601	発行者名(番号・略称)27・教芸 音楽102 202 302 402 502 602
1　学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	（1）全体としての特徴や創意工夫	・音楽科の目標に従い、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育むために、題材構成を工夫し、題材の狙いを明確に示している。 ・目次と教材のページに題材の目標が明記されている。 ・各題材とも見開きごとに「学習のねらい」を示し、教材に関連する「共通事項」を「音楽のもと」として示している。 ・「まなびリンク」のマークが付いている教材は、ウェブサイトにアクセスすることで役に立つ情報を得ることができるよう配慮されている。 「まなびナビ」で学びの視点を示し、見通しを持って活動できるよう工夫されている。 ・わらべ歌や祭りの音楽が1年より扱われており、日本の伝統に触れられるようになっている。 ・全学年に「さんぽ」が取り上げられ、発達段階に応じた内容でアレンジされ、全校で取り組めるようになっている。	・音楽科の目標に従い、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育むために、題材構成を工夫し、題材の狙いを明確に示している。 ・目次と教材のページに題材の目標が明記されている。 ・題材ごとに「学習のねらい」を紙面左上に、教材に関連する「共通事項」を紙面右下に示している。 ・各学年とも巻頭に1年間の学習が系統的にわかりやすく並べてあり、見通しを持てるよう工夫されている。 ・教材の目標が大きく示される配慮がなされている。 ・「振り返りのページ」で学習した内容を振り返れるようにしている。 ・わらべ歌が1年から扱われており、日本古来の音楽に触れられるようになっている。 ・2年生から世界に目を向けられるような楽曲が取り上げられている。
2　内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	（1）基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	・2年生から、ページの右端に新出事項をわかりやすく示している。 ・透明シートを活用することで、基礎基本の定着が図られるよう工夫されている。 ・音の高さを図で表し捉えやすいよう配慮されている。 ・打楽器の奏法が写真等で詳しく具体的に示されており、技能の習得ができるよう配慮されている。 ・初めて鍵盤ハーモニカを取り扱う1年生で、実物大の階名の書かれた鍵盤がそれぞれの楽曲のページに示されており、教科書上でも練習できるよう工夫されている。 ・鍵盤ハーモニカの難しい指使いを写真で示したり、楽譜を第3線までにする等見やすい配慮がされている。 ・3年生で初めて学ぶリコーダーの導入が、息使いについて分かりやすく取り上げられている。 ・リコーダーの運指表が折り込みで入っており、楽曲を演奏する際、開いた状態で確認できる配慮がされている。 ・巻末に“「音楽のもと」まとめ”を作り、1年間の学びを振り返れるよう配慮している。 ・2年生以上に「スキルアップ」を作り、発声やリズムが定着するよう工夫している。	・2年生から新出事項が「新しくおぼえること」としてわかりやすくまとめられている。 ・低学年から音程を意識できるよう風船で表す工夫がされている。 ・初めて鍵盤ハーモニカを取り扱う1年生で、12ページ分が使用されており、丁寧でわかりやすい配慮がされている。 ・鍵盤ハーモニカの難しい指使いを写真で示したり、楽譜を第3線までにするなど、見やすい配慮がされている。 ・3年生で初めて取り扱うリコーダーで10ページ分が使用されており、わかりにくいサミングが写真で大きく扱われたりホール番号やタンギングについて丁寧でわかりやすい工夫がされている。 ・楽器の片付けの方法やことの奏法が、イラストや写真を使用しわかりやすく取り上げられている。 ・2部合唱や輪唱の教材において、色分けがされており視覚的に見て、とらえやすい工夫がされている。 ・弱起理解について各段の最後の小節線をなくし、裏拍から始まることが視覚的に捉えやすい工夫がされている。 ・巻末に1年間のまとめが整理され、理解しやすいように配慮されている。 ・中学年の「そだてよう」では、リズムの習得ができるよう工夫されている。
	（2）思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	・巻末に音楽の要素を表わす言葉がまとめて示されていることで、表現に結びつけやすいよう配慮されている。 ・気付きや考えた事を言葉で表現できるよう設問が工夫されている。 ・話し合ったことや感じたことを記入できるようワークシートが工夫されており、言語活動の充実に配慮している。 ・鑑賞教材が、歌えたり、楽器で演奏できるよう工夫されている。 ・「学び合う音楽」で、どのように歌うか、演奏するか思考させ、表現できるよう導き出している。 ・「音のスケッチ」では、既習曲を元にして系統的に音楽づくりの発想を育てる工夫をしている。	・単元の中で各領域を横断的に学習できるよう配慮されている。 ・創作領域では「音楽づくり」として系統的に考え、表現できるよう工夫されている。 ・鑑賞資料による系統的な捉えができるよう配慮されている。 ・歌唱教材で作曲者の思いを理解し、表現に結びつけられるよう、「見つけるポイント」を示し、考えやすいよう配慮されている。 ・創作領域において音符でなく、図で示すことにより、イメージしやすく、表現に結びつけやすい工夫がされている。
	（3）児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	・写真が多く使用されており、興味関心を高めるとともに楽曲のイメージを膨らませる工夫がされている。 ・「学びリンク」の提示により児童が主体的に学びを深められる工夫がなされている。 ・反復記号の使用されている楽曲について演奏順が示されており主体的に取り組みやすい配慮がされている。 ・8種類のマークによる表示がされており、学習内容や他の教材との関連等を主体的に捉えられるよう工夫されている。 ・気づきや感想を書き込めるスペースがあり、考えをまとめたり、グループ活動しやすい工夫がされている。 ・巻頭に著名人からのメッセージを載せ、音楽への意欲や親しみが持てるよう工夫されている。 ・キャラクターが学習のヒントや考えるきっかけを与えて、気づきや思考を促すよう工夫されている。	・旋律の重なりが色で示されており、視覚的に捉えられる工夫がなされている。 ・QRコードが提示され児童が主体的に学べるよう配慮されていると同時に保護者へのメッセージも書かれていることで家庭学習への意欲喚起が図られている。 ・CM 等で使用されている楽曲が多く取り入れられており、耳なじみがあるため、主体的に取り組みやすい。 ・リコーダーを複数で演奏する時に、どんなイメージで演奏すればよいかイラストで示されている。(5年、P17) ・気づきや感想を書き込めるスペースがあり、考えをまとめたり、グループ活動しやすい工夫がされている。 ・キャラクターが学習のヒントや考えるきっかけを与えて、気づきや思考を促すよう工夫されている。 ・どのような歌声で歌えば良いかポイントが示されている。
	（4）学習指導要領に示していない内容の取扱い	・「とんび」では、複付点音符が使用されており、原曲を忠実に取り入れている。 ・「発展」という形で全休符を扱っている。 ・手話が全学年で取り上げられている。 ・鑑賞教材に中学校での教材を取り入れ中学校との関連性を持たせている。	・身の周りの「音」を通して視覚、聴覚障害について考えられる工夫がなされている。 ・手話が2年生で取り上げられている。
	（5）他の教科等との関連	・全学年で英語の歌唱教材が取り上げられ、外国語科との関連を図っている。 ・国語科との関連 「大きなかぶ(1)」「ゆき(5)」「星とたんぽぽ(5)」、算数科との関連 「みんなで九九(2)」生活科との関連 「たなばたさま(1)」「たきび(1)」「おしょうがつ(1)」「うれしいひなまつり(1)」「虫の声(2)」」他、社会科との関連 「グリーグ」など教科横断的な学習が行えるよう工夫されている。 ・震災について考えられるよう「心を伝える」「心をつなぐ」というテーマが取り上げら、生命尊重、社会貢献等、道徳科との関連が図れている。	・全学年で英語の歌唱教材が取り上げられ、外国語科との関連を図っている。 ・国語科との関連 「ごんぎつね(4)」、生活科との関連 「虫の声(2)」、社会科との関連 「ベートーベン(3)」「音楽の歴史を作った人(4)」「日本の古典芸能(6)」、総合的な学習との関連「「地域に伝わる音楽を調べよう」(4年、P28)など教科横断的に学習できるよう工夫されている。 ・災害復興に関わる曲が多く取り入れられ、生命尊重、社会貢献等、道徳科との関連が図れている。 ・国歌「君が代」のページに、国歌を歌う時のマナーやオリンピックのメダリストなどの写真が取り上げられ、道徳科の愛国心に繋がっている。
3　使用上の便宜が工夫されていること。	（1）表記・表現の工夫	・ユニバーサルフォントを使用し、見やすさ、読みやすさに配慮している。 ・直接教科書に記入できるよう工夫されている。 ・絵本作家の絵が使用され優しい色使いで全体がまとめられている。 ・合奏の楽譜で小節番号が記入され、とらえやすい配慮がされている。 ・教科書の大きさが学年に応じて取扱やすいよう配慮されている。 ・注目させたい音符、休符に目立つ配色がつけられている。 ・歌唱共通教材で折り込みを使い、自然や四季の美しさを表す写真を載せ、興味関心を高められるよう工夫されている。 ・活動のポイントの文章表記が「～かな。～ね。～よう。」などの話し言葉になっていて親しみやすい。	・目次が色分けされており、視覚的にわかりやすくまとめられる工夫がされている。 ・図を使用して視覚的にわかりやす示されており、楽譜で捉えられなくても取組みやすいよう工夫されている。 ・全学年を通して同じキャラクターが使用され、イラストが児童にとって興味関心をひくものになるよう工夫されている。 ・楽譜の音符等が大きく、色による区別がつきにくい児童のために枠の形を変え、捉えやすい配慮がなされている(2年、P13) ・単元ごとに色分けされ見やすい構成になっている。・ ・歌唱共通教材で自然や四季の美しさを表す写真を載せたり、「ふるさと」を表す写真が京都府(美山町)を取り上げ、興味関心を高められるよう工夫されている。 ・裏表紙の写真で、子どもが活躍している郷土芸能を紹介し、興味関心が持てるよう工夫されている。 ・活動のポイントの文章表記が「～しましょう。」と丁寧である。

教 科 用 図 書 調 査 研 究 報 告 書（道徳を除く）

教科・種目名	図画工作	種類	2種

採択基準	基本観点	発行者名(番号・略称) 9 開隆堂 教科書の記号・番号 101, 102, 301, 302, 501, 502	発行者名(番号・略称)116日文 教科書の記号・番号103, 104, 303, 304, 503, 504	発行者名(番号・略称) 教科書の記号・番号	発行者名(番号・略称) 教科書の記号・番号
1　学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	（1）全体としての特徴や創意工夫	各単元ことに、学習のめあてと振り返りが示されており、児童にもこの単元でどのようなことを学ぶのか、また、どの視点で振り返るのかがはっきりしている。 目次に、「主に大切な目当てマーク」と「題材の内容マーク」の両方が掲載され「何で」「何を学ぶのか」がわかりやすく記してある。 どの教材にも「振り返り」がページ下段に示され、自分で振り返るよう工夫してある。 QR コードや動画などいろいろな技術も取り入れられており視覚支援を多く行える。	各観点がマークで示されており、観点ごとの目標提示されている。 全学年の表紙の作品は子どもの思いが形や色に表れているもので、学ぶことに意欲が持てるようなレイアウトの工夫がなされている。 児童の写真や吹き出しで活動の様子をとらえられるようにしている。参考作品として多くの図版や完成作品が掲載され、カタログのように多くの作品を見ることができる。		
2　内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	（1）基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	キャラクター（くふうさん）が「知識及び技能」に対応し、形や色、方法や材料などを示して学習課題に導いている。 「ぼかし」「シャボン」「色染め」等技法の種類が豊富に示してある。 道具の使い方とともに「安全に配慮すべき内容」「片付けの方法」等の配慮がある。	キャラクターが視点を伝えることで、更に思考し、学びが広がる工夫がされている。 「使ってみよう材料と用具」として材料や用具の取扱いについて掲載することで視覚的に分かりやすい工夫となり、技能の習得の手助けになっている。 「教科書美術館」では知識の習得を目指している。		
	（2）思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	単元の最初のページ上に必要な材料が掲載され、何を表現するか、どのように表現するか、考えられるように配慮している。 発想や構想の力が問われる制作途中のヒントとなる写真や吹き出しも扱われている。	「ひらめきポケット」では、試しながら形や色をとらえてイメージを広げられるテーマを選び、造形的な見方・考え方を働かせるように工夫されている。 互いの作品を鑑賞し、作品のよさを伝え合うことができるような情景写真が掲載されている。		
	（3）児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	対話しながらアイディアを膨らませて制作しようとする写真が掲載されている。また、作品の制作だけでなく作成した取扱書等の紹介など、言語活動の例も掲載されている。	外国の子どもとの対話写真もあり、グローバル社会を意識していることが感じられる。 生活に結び付けられるよう保護者や地域の方と共有できるよう工夫されている。		
	（4）学習指導要領に示していない内容の取扱い	東京オリンピック・パラリンピックを取り上げ、何らかの形でかかわり価値や意義を学べる工夫がされている。 伝統文化や材料などを取り上げ、地域や社会とかかわりを持てるよう工夫されている。	自然や環境について考えることを促す題材や事例を掲載している。 著作権やインターネットへの配慮に触れている。 すべての単元に片付けの枠があり、人間性の育ちや気付きを促している。		
	（5）他の教科等との関連	他教科と関連した単元には、関連教科が表記されている。 高学年ではプログラミング教育との関連について触れられている。	カリキュラムマネジメントの視点で「他教科等とつなぐ」、「6年間の学びをつなぐ」の2点があげられ、系統的に学習を進められる配当となっている。道徳マークで道徳との関連が示されている。		
3　使用上の便宜が工夫されていること。	（1）表記・表現の工夫	色、マーク等ユニバーサルデザインが採用されている。教科横断的な視点で編成した「カリキュラム編成目次」により、カリキュラムマネジメントの視点で学年全体の構成を考えられる。	写真に児童のつぶやきがついており、想像を広げる工夫がされている。また、つぶやきがめあてと関連しているため、自然と単元の目標に近づける工夫がされている。 全国の様々な地域の事例や作品をバランスよく配列している。		

教 科 用 図 書 調 査 研 究 報 告 書（道徳を除く）

教科・種目名	家庭科	種類	2種

（　　）枚中（　　）枚

採択基準	基本観点	2 東書 家庭501	9 開隆堂 家庭502	発行者名（番号・略称） 教科書の記号・番号	発行者名（番号・略称） 教科書の記号・番号
1　学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	（1）全体としての特徴や創意工夫	・単元ごとの学習の流れがステップで示してあり、工夫されている。 ・学習の流れを明確にしているため、学習の見通しが立ちやすい。 ・課題を捉え、問題解決的な授業展開が期待できる。 ・QRコードで動画やワークシートが読み込める。その内容は短時間で印象に残るように工夫されていた。 ・大判で写真や図が見やすい。	・見開きのページに家庭科で目指すことや付けたい力が明確にされている。「生活の見方・考え方　4つの視点」が示してあり、学習指導要領の視点に沿った見方・考え方ができる。 ・気付き～導入⇒技能⇒実生活へという学習の流れがシンプルで分かりやすい。 ・教科書のサイズが子どもの手には持ちやすい。 ・QRコードが数ページに分けて設けてあり、必要な時に情報が得られるようになっている。		
2　内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	（1）基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	・5年で学んだ技能を6年で再度、使う場面があり習熟が図れる。 ・小教材の始めに学習の「めあて」、終わりにはそれに呼応した「ふり返り」を設けている。 ・P39に表示一覧があり、理解しやすい。 ・「いつも確かめよう」が実習とセットで設定してあり、制作や作業の手順が分かりやすくなっている。実寸大の大きさの切り方も表示してある。また、実際の生活場面で活かせるように配慮してある。	・「技能チェック表」で学習成果を確かめられる。 ・各ページの下欄に「ひとロメモ」が設けてあり、学習と関連付けた様々な知識が得られるようになっている。 ・大事な言葉を太字表示している。 ・裏表紙に野菜の切り方が掲載されており、実習に活かしやすい。		
	（2）思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	・家庭科の窓という言葉を使い、家庭科で付けていくべき見方・考え方の視点が明確にされている。 ・「生活を変えるチャンス！」として、学んだことを整理したり、改善点を話し合ったりするための例が示してある。（P31・61等） ・「伝統」を設け、日本文化を深く知ったり、自分の生活や他国と比較したりして、学習に広がりがもてる。	・案内役のキャラクターの話す言葉が家庭科における見方・考え方を働かせる手助けをしている。 ・実習の計画やレポート作成等、言語活動が充実する題材が意図的に設定されている。 ・単元の副題が問いかけになっており、思考を高める配慮がされている。		
	（3）児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	・学習の進め方(流れ)が単元ごとに示してある。 ・プロに聞くというコーナーを読むことで、自らの生活をより快適にするための意欲付けができる。 ・話し合いの活動例がある。	・写真やイラストから課題を見つけることができるフォトランゲージが工夫されている。 ・学習した内容を活用するチャレンジコーナーが位置付けてある。(防災・環境・伝統文化等に関連して) ・P77のように課題設定から評価・改善までの手順や具体例が示されていて、自分の学びを深めたり、他者と話し合ったりできるよう工夫されている。 ・☆の数で調理や制作のレベルを表示している。		
	（4）学習指導要領に示していない内容の取扱い	・下欄に英単語を掲載している。 ・買い物に絡めて、情報モラルに触れている。	・ことばのページを設定し、家庭科で使う英単語をまとめて掲載している。		
	（5）他の教科等との関連	・理科・社会科 ・道徳教育 ・キャリア教育 ・グローバル教育 ・外国語:英単語 ・情報教育:動画コンテンツ ・環境教育:持続可能な社会の構築の視点 ・消費者教育 ・防災教育 ・安全教育 ・小中連携 ・感謝やマナーなどの視点	・理科・社会科・保健 ・道徳教育 ・キャリア教育 ・グローバル教育 ・外国語:英単語 ・情報教育:動画コンテンツ・QRコード ・環境教育:持続可能な社会の構築の視点 ・消費者教育 ・防災教育 ・安全教育 ・小中連携 ・プログラミング教育		
3　使用上の便宜が工夫されていること。	（1）表記・表現の工夫	・P3成長の記録が学習の振り返りにつながる。 ・基礎・基本となる用語は太字になっている。 ・イラストや写真が大きく、多い。 ・右利き・左利きに対応。 ・作業する手をのせて練習できる実寸大写真が掲載されている。 ・全体的に色合いが柔らかい。 ・リンクマークが活用されている。	・爪出しの工夫。 ・手順が大きく、全て横流れのデザインで統一されている。 ・絵を活用し、1ページごとにすっきりとまとめられている。 ・右利き、左利きに対応。		

教 科 用 図 書 調 査 研 究 報 告 書（道徳を除く）

教科・種目名	保健	種類	5種

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略称） 2 東書 教科書の記号・番号 保健301 保健501	発行者名（番号・略称） 4大日本 教科書の記号・番号 保健302 保健502	発行者名（番号・略称） 207文教社 教科書の記号・番号 保健303 保健503	発行者名（番号・略称） 208光文 教科書の記号・番号 保健304 保健504
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	（1）全体としての特徴や創意工夫	学習指導要領の目標に則り、ステップ1（気づく・見つける）、ステップ2（調べる・解決する）、ステップ3（深める・伝える）、ステップ4（まとめ・生かす）で構成され、問題解決の過程が分かりやすく表示されている。 A4版にすることで、記入欄が大きくなり書き込みしやすく、UD的にも配慮した作りになっている。	各項の始まりが見開き写真とイラスト（ゲーム要素のあるもの）で構成されており、見開きイラストから学習に関連する知識を得られるよう工夫されている。 文字の量が多すぎず、UDフォントで読みやすくされている。補足はキャラクターから吹き出しで出ている。 A4変型判で他社よりサイズが小さい。	A4版で構成され、イラストや写真、書き込み部分が大きく、児童にとって見やすく、学習活動がしやすいよう配慮されている。3・4年生はイラストや写真が大きめになっている。 1時間が見開き2ページで示されている。	A4版でイラストを大きく示したり、書き込みやすくしたりする工夫がされている。 章ごとにイラスト付きでストーリー形式の導入があり学習意欲を高める工夫がある。 1時間見開き2ページの構成となっている。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	（1）基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	本文では簡潔にまとめられており、大切な部分は、ゴシック体となっている。 章末の「学習を振り返ろう」で、学習内容を理解し、知識の定着を図ることができるようになっている。 実習ページや「技能」を映像で確認できるデジタルコンテンツが用意されている。	章の終わりに、知識及び技能を定着させるための問題を設定している。 学習内容をまとめる本文が、全体的に程よい文章量でまとめられていて、知識の取得ができるように図られている。	ポイントになる文章は色枠の中に示されており、大事な語句は太字で強調されている。 各ページの文字量は多い。 技能習得に関する部分は、黄色枠で囲まれており、生活の中で実践できるように簡潔にまとめられている。	「考えよう」「調べよう」の学習内容で、資料やイラスト、写真、記述を関連付けて学習を進めることで、基礎的・基本的な知識を身に付けられる構成となっている。 章末に学習のまとめを設け、知識の定着が図れるように工夫されている。
	（2）思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	ステップ1からステップ3において、課題を見つけたり、解決に向けて調べたり話し合ったりするなどの活動が設定されている。 児童の生活場面を想起させる写真や挿絵をダイナミックに配置し、身近な例から健康課題に気づいたり見つけたりすることができるようになっている。	「やってみよう」「調べてみよう」という項目があり、課題解決学習を通して、思考力・判断力が育成されるように配慮されている。 「活用して深めよう」という項目があり、自分の言葉として表す表現力が育成されるように工夫されている。	「新しい自分にレベルアップ」という見出しにしてあり、自分の考えや理由など書き込めるようにしてある。 話し合ってみよう、調べてみよう、自分ならどうする、という項目に分けてあり、自分で思考・判断・表現するという学習の流れに沿って進められるように配慮されている。	毎時間の最後に、「学んだことを生かそう伝えよう」を設定し、思考力・判断力・表現力を高められる活動ができるようになっている。 特徴的なコーナーを設置し、児童の思考を促すきっかけになる情報を示す工夫がなされている。
	（3）児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	ステップ2・3が2-1、2-2のように、必要に応じてスモールステップで学習できるようになっている。 各項の冒頭で「学習の課題」が明示されている。 考えたことを書いたり発表したりして伝え合う場面の設定がされている。	章の初めに「学習ゲーム」があり、ゲームを通して学習課題に気づくことができるよう工夫されている。 各小単元で、「話し合ってみよう」の活動を通して、友達との対話から思考を広げ深め、深い学びが実現できるように配慮されている。	調べ学習や話し合い活動が、学習の一連の流れとして示され、主体的・対話的に学習が進められるよう工夫されている。 どの小単元でも、学習活動①に「ふり返ってみよう」と設けてあり、自分自身の生活や行動がふり返られるように工夫してある。	言語活動の充実を図るため、話し合い活動や記述する活動が多くできるような構成となっている。 QRコードや web サイトを掲載し、学習内容に広がりを持たせ、深く理解できるよう配慮している。
	（4）学習指導要領に示していない内容の取扱い	小単元の終わりには、発展項目として資料が示されており、より深い学びにつなげられるように工夫がされている。 QRコードやホームページにつながるURLが書かれていて、インターネット学習や動画が見られる工夫がある。	発展はマークで示されている。また、他学年での取り扱いについても示されている。 SNSの危険性について示されている。（5.6年P14.P27）現代的な課題（SNS、がん）が用意されている。 各小単元が1時間の学習内容をまとめているため、時期を問わず指導を行うことができる。	「もっと知りたい」というコーナーや発展的な内容が示されていて、深い学びができるように工夫されている。 詳しく知りたい場合のホームページQRコードがある。	発展はマークで示されている。 社会生活や生活習慣の変化に応じた健康・安全に関する課題を積極的に取り上げている。 情報モラル・ICT機器の活用などへの対応について示されている。
	（5）他の教科等との関連	章の始まりのページに「つなげよう」として、他教科との関連が示されている。 本文中にも随所に他教科との関連がマークで示されている。	教科横断的な学習や学年間の系統、中学校との関連が一目で分かるように、アイコンで示す工夫がされている。	まめ知識として、他学年との関連が示されている。あまり多くはない。	運動領域の「体ほぐし運動」や「特別の教科道徳」をはじめ、「算数・理科・家庭・社会」といった学習との関連が図れるようにしている。 「広げよう・深めよう」を示し、学習をより広げられる工夫がされている。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	（1）表記・表現の工夫	文節の切れ目で改行されている。 色覚の多様性に配慮し、色数を多用せず、マークなどの色は統一されている。 UDフォントが使用されている。 書き込みしやすい用紙で、軽量で丈夫な再生紙が使用されている。	各学年での振り返りを書き込むスペースがある。また、3・4年版では、シールを使って視覚的に振り返ることができる。 UDフォントが使用されていて、手書き感があり児童にとって親しみやすいと思われる。 デジタルコンテンツが用意されている。	イラスト中心に示されているが、より深く理解させたいことや、目では見えない部分は写真で示す工夫がされている。 学習の流れがページの中に示されている。 書き込み欄が大きめになっている。	中学年ではイラストを多用し、字間を大きめにとり、余裕を持った構成となっている。高学年では、イラストと写真を効果的に示し、字間を詰め、発達段階に応じたつくりとなっている。 全ての児童が見やすい色になるようにしている。（全ページ確認済みとの表記） 関連した動画コンテンツが見やすいよう、紙面にQRコードが配置されている。

教 科 用 図 書 調 査 研 究 報 告 書（道徳を除く）

教科・種目名	保健	種類	5種

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略称） 224学研 教科書の記号・番号 保健305 保健505	発行者名（番号・略称） 教科書の記号・番号	発行者名（番号・略称） 教科書の記号・番号	発行者名（番号・略称） 教科書の記号・番号
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	（1）全体としての特徴や創意工夫	1時間を「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」と「本文」で構成されている。また、見開き2ページで完結するように図られている。 表紙裏に「スポーツに親しもう」のコーナーが設けられており、心と体のつながりが示されている。 本文を読んだ後に、資料等で確かめるなどの効果的な学習の順序に配慮している。			
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	（1）基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	新しく学ぶ語句は、欄外で説明が書かれている。また、大切な語句は太字で字体にも目を引く工夫がなされている。 科学的に認識できるように、説得力のある論理的な文章と科学的な資料で誌面を構成している。			
	（2）思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	比べる、確かめる、話し合うなどの活動を、学習内容に応じて適切に設定し、それぞれの能力を養うことができるように工夫している。 なかなか自分の考えが書けない児童でも学習しやすいように、○をつけるだけでよかったり、記述が「まとめる・深める」欄に絞られている。			
	（3）児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	各章の扉に学習課題を考えさせる文言がある。また、各項目の導入には、チェックしたり経験を振り返ったりする活動などを設け、児童が興味・関心を持って取り組むことができるようにしている。 「かがくの目」では、実験で証明している写真を載せて、児童の興味を引き、主体的に取り組むための工夫がある。			
	（4）学習指導要領に示していない内容の取扱い	児童の興味・関心に応じて、学習したことを広げたり、深めたりすることができる内容や今日的な健康課題を豊富に取り上げている。 緊急の警報について詳しく示されている。			
	（5）他の教科等との関連	「関連」マークで、保健学習以外のことも健康に関連していることに気づくことができるよう工夫されている。 社会、理科、体育、保健、生活の内容と関連させている。			
3 使用上の便宜が工夫されていること。	（1）表記・表現の工夫	各学年のまとめを書き込むページがある。 インターネットやデジタル教材で学びを広げたり、深めたりするため、QRコードが取り入れられている。 全国各地の実例の写真を豊富に掲載し、身近な問題として認識しやすいようにしている。			